

## 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	4571800186
法人名	社会福祉法人 報謝会
事業所名	みやま荘
所在地	宮崎県西諸県郡高原町大字家蒲牟田7351-1 (電話) 0984-42-5001
評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎県宮崎市和知川原1丁目101
訪問調査日	平成20年6月20日

## 【情報提供票より】(平成20年 6月 1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 1月 1日
ユニット数	3 ユニット
職員数	18人
利用定員数計	27 人
常勤	13人
非常勤	5人
常勤換算	人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	8,500 円	
敷金	有( 100,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,050 円		

## (4) 利用者の概要( 6月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性	3 名	女性	24 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	8 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 86.8 歳	最低	78 歳	最高	98 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	国民健康保険高原病院 ひろた内科クリニック
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

霧島の山麓に位置し、周りは田園地で近くには温泉施設もありのどかで静かな環境にある。ホームは3ユニットで同法人の老人福祉施設に隣接している。敷地内にある中庭は芝生が敷き詰めてあり散歩や法人の夏祭りの会場としても活用される。各ユニットの管理者は限られた職員数の中でケアについても常に職員と話し合いを持ち利用者の状況に合わせた介護サービスの提供が行われていた。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	自己評価、外部評価の実施意義については理解されている。前回の評価で多くの項目について改善課題があがっており全ての項目への対応は困難であるが、運営推進会議を活かした取り組みや職員を育てる取り組み、終末期への対応など改善されている項目もあった。今後更によりよいホーム作りに向け取り組んでほしい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義とねらいについて経営者の意見は無いが管理者・職員で話し合い自己評価に取り組んでいる。今回新たに見出された課題もあり解決可能なものから少しずつ取り組んでほしい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2か月に1回、行政職、家族の代表、ホームの管理者などの参加のもとホームの取り組みや利用者の状態などの報告がなされている。行政職の方が参加していただくことにより連携がスムーズに図れるようになっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議での家族代表の意見、意見箱や面会の際に直接意見や要望を聞いている。現状としては意見、苦情など少ない状況であるが、気軽に意見や苦情が出せるような環境づくりができるよう工夫してほしい。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	法人全体の祭りや敬老会などのイベントには地域の方や保育所のボランティアなど参加がある。また、高校の実習生の受け入れなどもあり連携を図っている。今後さらに自治会への参加や近隣の小・中学校なども積極的に連携を図ってほしい。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を考え、法人全体の理念である「笑顔」「やさしさ」「利用者と共に」の理念を共有しているが、独自の理念はつくりあげられていない。	○	法人の理念をもとに事業所独自に地域性のあるホームとしての具体化された独自の理念を作り上げてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期会議や各ユニットごとの会議で理念について話合いの機会を持ち理念の理解・共有につとめている。	○	地域密着型サービスの理念は理解されているが独自の理念が無いので、職員も漠然とした確認しかできていない。今後理念の具体化を図り実践に向けた取り組みが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人全体の祭りや敬老会などのイベントへの保育所のボランティアの参加や高校生の実習受け入れなどは行われているが、事業所独自の地域との交流はすすめられていない。	○	小・中学校の行事への参加や自治会などへの加入など、ホーム独自の積極的な取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員で話合い全員で自己評価に取り組んでいるが評価で見出された課題について改善計画をたて、実施までの取り組みは行われていない。また前回の評価における改善点についての検討や取り組みがなされていない。	○	評価で見出された課題について改善計画をたて、できるところから少しずつ実施できるような取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回行政職、家族会の代表、事業所職員の参加のもと運営会議を開催し会議での意見を参考にケアに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議へ行政職の参加により意見交換が活発に行えるようになった。また、町の包括支援センターが中心となり町内にあるホームとの意見交換ができるよう定期会議の開催なども行われている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の入金にあわせ来訪を促し、来訪時に利用者の健康状況や暮らしぶりについて話し合いを行っている。職員の異動についての報告については行われていない。	○	職員の異動なども含めた報告を行ってほしい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理体制も明確にしてある。また意見箱の設置もなされているが家族からの意見は少ない。	○	運営推進会議に家族の代表者の出席もあり、家族会の設置や町が独自に町内グループホームの家族向けアンケートを行っているので、さらに情報交換など含め取り組みを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループホームの人員基準は満たされているが、異動が多く利用者へのダメージや現職員への負担は大きいようである。また職員同士でフォローしあいながら、利用者の支援に支障がないように努めている。	○	職員の希望する休暇も十分取れていない状況もあり、利用者支援に影響がないように配慮していくために、経営者には継続的に理解していただけるよう要望をし、労働環境の改善を図り職員が勤務しやすい環境づくりが望まれる。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に外部研修が可能となっている。また、外部の研修に参加した場合はレポートを作成し各職員に配布している。また、同法人内のグループホーム合同での勉強会なども開催されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町の包括支援センターを中心に定期的に町内のグループホームで意見交換を行いサービスの質を向上に努めている。また、県西地区ブロックでの会議も開催し意見交換を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前におためし体験宿泊や利用前に職員の訪問など行い、徐々に馴染めるような工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者とのかかわりの中で、同じ目線で共に過ごす関係作りをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員の異動も影響し、日課に合わせた支援になっている。	○	利用者が何をしたいかどのような暮らしを望んでいるか日々の生活を通じ本人本位に希望・意向の把握に努めてほしい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	管理者を中心に全職員で話し合い利用者の立場に立った介護計画が作成されている。また、家族に説明し同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3か月に1回定期的に行われている。利用者の担当者がそれぞれ計画の見直しを行い、計画の遂行状況・効果など日々の申し送りなどで話し合いが行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員の異動の影響もあり、多機能的な支援は取組まれていない。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医を受診できるよう支援している。また、協力医療機関も含め良好な関係が築かれている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人としての重度化、終末期に向けた指針があり、過去に看取りを行った経験もある。管理者を中心に職員全体で重度化に向け家族を含めた方針の確認を行っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の対応時はプライバシーを損ねないように十分配慮されており個人情報についても十分な配慮のもとに管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースにあわせ希望に沿って支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の重度化に伴い食事介助を行うことが多くなり、一緒に食事をする時間が取れていない。	○	できる限り利用者と職員と一緒に準備をしたり、食卓を囲んで同じ物を食べるような取り組みを期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1日おきに入浴が行われている。	○	本人の生活習慣や希望を聞きだせるような工夫をし、利用者の状況にあわせた入浴支援の取り組みを期待したい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できる限り利用者の能力や特性を活かし草むしり、畑仕事、洗濯物をたたむなど支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の外出支援の意向はあるが、三大介護が精一杯で戸外に出かけられるような支援は行われていない。	○	利用者がなじみの場所など出かけられるようまた、引きこもることのないよう戸外へ出ることを積極的に働きかけられるよう取り組みを期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットごとの玄関の施錠はないが外柵は経営者の意向により施錠を行っている。		鍵をかけないケアへの取り組みを期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署と連携し夜間想定も含め防災訓練を行っている。また近隣の温泉へも協力依頼をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人の栄養士が一人ひとりの嗜好を把握し栄養バランスに配慮した献立作りがなされている。また、嚥下や咀嚼に問題がある方は細かく刻んだりとろみをつけるなど工夫がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の共有空間はたたみのスペースやソファなど設置などゆったりと保たれており、不快な音や光もなく安心して生活できる環境である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の持ち物や本人にに関連した物が持ち込まれておりその人らしい環境づくりがなされている。		